

フリージャーナリスト 西谷文和

本当にコストが一番安いのか?

電源毎の発電費用(単価)の実績(2000年~07年)

原子力	火力	水力	一般水力	揚水
8.64	9.80	7.08	51.87	51.87

電力会社は揚水のコストを水力に算入

単位:円/kWh

本当のコスト

火力	水力	一般水力	揚水	原子力+揚水
9.80	7.08	3.88	51.87	10.13

自然エネルギーである水力が安い

原発は一度動かすと、フル

12円23銭
原発の本当のコスト

しかし、この表には「隠された真実」が潜んでいる。それは揚水発電だ。64円、火力は9・80円、水力が7・08円となり、原子力はそれほど安くはないことが判明した。

である。

当然、立地自治体につき込まれた巨額の税金もコストに算入されねばならない。実は税金を含めた本当の原発コストは、原子力+揚水が12・23円、火力が9・90円、一般水力は3・98円となり、圧倒的に原発が高いのである。

さらに考慮すべきは、原発につき込まれてきた税金である。当然、立地自治体につき込まれた巨額の税金もコストに算入されねばならない。

本当の姿なのだ。

さらに言えば、この中には核燃料サイクル費用が含まれていない。六ヶ所村、もんじゅの費用などを考えると、「原発を続けられれば、日本は経済破綻」してしまいかねないのが本当の姿なのだ。

健康被害や風評被害への補償...これらは天文学的数字に跳ね上がるので、今や世界の投資家は原発には投資せず(事故が起きれば投資金は返って来なくなる)、太陽光に切り替え始めているのだ。

よく出てくる原発の発電単価は、1キロワット時5・9円という数字。これは経産省・資源エネルギー庁が出したもので、電力会社が計算したものでない。

5円90銭が二人歩き
経産省の机上の計算

原発は危険だけれど、コストが一番安いことから、日本経済発展のためには止められない。安全性を高めて再稼働すべきだ。これが東電や政府、財界など「原子力ムラ」の言い分なのだろう。

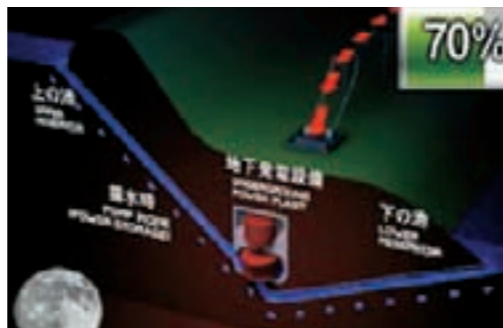
8円64銭の裏に
「隠された真実」が

くらかかって電気を作ったのか?」ということ。

立命館大学の島堅一教授が、電力会社の有価証券報告書を元に、各電源ごとの単価をはじき出した。

その方法は①燃料などの発電に関わる費用と、②その処理にかかるバックエンド費用を足した額。

もう一つ考慮すべきコストがある。それは事故による賠償金。福島を例に挙げると、健康被害や風評被害への補償...これらは天文学的数字に跳ね上がるので、今や世界の投資家は原発には投資せず(事故が起きれば投資金は返って来なくなる)、太陽光に切り替え始めているのだ。

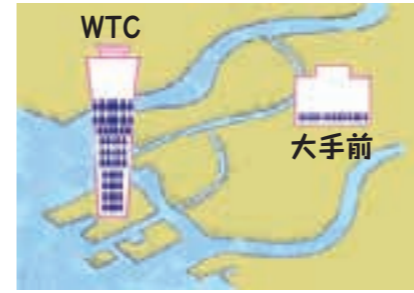


原発を動かせば、必ず揚水発電所が必要になる

「元に戻ってちょ〜だ〜い」 「タレントやっててちょ〜だ〜い」 「みんなまあくハシモトドリ。そのと〜り!!」



ビル購入に85億円



職員の移転に11億円



耐震工事に130億円?



今後も税金投入?

監査請求をしたのは10月に結成されたばかりの市民団体「橋下さんが元のテレビタレントに戻られることを願う大阪府民の会」(略称ハシモトドリ)の会。WTCへの府庁舎移転や大阪都構想、教育基本条例など「強引で独裁的な」橋下知事の手法に疑問を感じた市民グループだ。

定した。しかし府議会議員や専門家などから、「耐震性に疑問がある」「防災拠点にするのは無理」「遠くて不便だ」など異論が噴出。そんな「真つ当な意見」に全く耳を貸さず、突っ走る橋下知事。府議会における2度の移転案否決にも関わらず、知事は10年11月頃から職員の引っ越しを開始させ、現在はWTCビル(咲洲庁舎)に約2千人の府職員が引っ越しを完了させた。

WTCビルは長周期地振動で大揺れ。エレベータに職員が5時間閉じこめられたり、ビル壁のひび割れ、天井パネルの落下、水道管の断裂など360カ所に及ぶ被害が出た。

今年8月、さすがに橋下知事はWTCへの全面移転を断念した。しかし2千人もの職員、来庁者、テナント業者などの安全を考えると、早期に耐震工事を行わねばならない。その工費は130億円もかかるというわ



10月19日、住民監査請求書を府に提出しました

WTCビル購入
府庁舎移転

橋下さん、知事を辞める前に責任とって!!

市民団体が住民監査請求